

平成31年度小松市立木場小学校 学校評価（計画）

めざす児童生徒像

- よく考え工夫する子(思索)・・・主体性・知識・技能の定着 思考力・表現力
 ○たくましい心と体の子(剛健)・・・言葉づかい・あいさつ
 ○思いやりの心で協力し合う子(誠実)・・・集団づくり

※児童生徒達成結果－教員結果・保護者結果

目標	項目	目標指標	評価達成度アンケート内容・調査項目	数値・アンケート結果(%)			※差	達成状況の分析	改善策	
				教員	児童生徒	保護者				
学校重点項目 (学校で設定)	相手意識をもって行動する	②③の項目を教員・児童・ともに80%以上にする。	① 相手を意識したあいさつを実行している							
			② 聞き手を意識して話している。							
			③ 目標を持ち、すすんで挑戦している。							
			④ 先生は、がんばりをみとめてくれる。							
			⑤ 家の人は、がんばりをほめたりはげましたりしてくれる。							
			集計							
重点項目 石川県共通 業務の改善 働き方		③の項目を100%にする。	① 校務分掌や業務の整理・統合が図られており、業務の平準化がなされている。							
			② 仕事にやりがいや達成感を感じている。							
			③ タイムマネジメントを意識して業務を進めている(児童とふれ合う時間、教材研究、校務働き方改革の趣旨を理解し、ワークライフバランスを心掛けている。							
			④							
			⑤							
			集計							
小松市共通重点項目	学校研究	②③の平均を、中間80%以上、85%以上にする。	① 学校でテーマを決め、講師を招聘するなどの校内研修を行っている。							
			② 研究主題に迫る目指す授業像(児童生徒像)を共有し、研究の視点に沿った授業研究会を計画的に行っている。							
			③ 教職員一人一人が授業研究に主体的に取り組み、自校の授業改善に向けた取組を共有・実践している。							
			④							
			⑤							
			集計							
	指導力の向上	授業	①と②と⑦の児童の割合を、中間80%以上、年度末85%以上とする。	① 児童生徒は、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいる。						
				② 児童生徒は、学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができる。						
				③ (発表力) 児童生徒は、自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組み立てなどを工夫して発表している。						
				④ (記述力) 児童生徒は、自分の考えを書く機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組み立てなどを工夫して書いている。						
				⑤ 児童生徒は、授業の最後に学習内容を振り返る活動をよく行っている。						
				⑥ 児童生徒は、授業の目標に沿って自分の学びの変容を実感したり、学びに対する達成感を得られたりしている。						
				⑦ 児童は、授業規律を守っている。						
	集計									
	学力の定着	学力調査	③単元テストの各領域の全学年平均点が85点以上 1学期80%以上 2学期83%以上 3学期85%以上である。	① 学力の重点目標や具体的な取り組みは全教職員で共通理解し、目標を達成できるよう取り組みは徹底して行っている。						
				② 学力向上ロードマップにおける各自の役割を教職員が理解し、定期的な検証がなされている。						
				③ 近隣等の小中学校と学力調査の結果や分析、成果や課題を共有している。(小中連携)						
				④ 単元テストの各領域の全学年平均点が85点以上達成している。						
				集計						
	家庭学習		③毎日目当ての時間家庭学習に取り組んでいる児童の割合が 1学期75%以上 2学期78%以上 3学期80%以上 いる。	① 自分で計画を立てて勉強している(3年以上)						
				② 児童生徒の家庭学習の評価・指導を行っている						
				③ 毎日目当ての時間家庭学習に取り組んでいる。						
				集計						

平成31年度小松市立木場学校 学校評価2

	目標・具体的取り組み	取組の状況（中間・8月提出）	取組の成果と課題（年度末・3月提出）	必要資料 帳簿の整備	確認	点検項目
生徒指導	<p>明るく礼儀正しい態度を身につける（生徒指導主事）</p> <p>・明るいあいさつに向けた児童主体の取り組みを工夫する。（①期日②方法③主体）</p> <p>①前後期②朝のあいさつ運動③児童会を中心に全校児童・「節度ある言葉遣い」や「人間関係づくり」をソーシャルスキルトレーニングやエンカウンターなどを通して学び、適切な態度を身につける。</p> <p>①学期に1回②学活でのソーシャルスキルトレーニングやエンカウンターの実施③担任</p>			職員アンケート		あいさつ言葉使いの指導
				保護者アンケート		家庭・地域でのあいさつ
				木場っ子アンケート		あいさつ・言葉使いについて
生徒指導	<p>いじめの未然防止・早期発見・早期対応（教育相談・生徒指導主事）</p> <p>・気になる児童の状況と手立て及び変容の共有、共通指導を図る。（①期日②方法③主体）</p> <p>①毎月②児童の状況の変容と手立ての確認③担任及び担当する職員</p> <p>・個別面談を通していじめ等の発見及び解消を図る。</p> <p>①年3回+年1回②アンケートをもとにした担任との個別面談「お話しタイム」+心の相談員との個別面談③担任+心の相談員</p>			職員アンケート		いじめに関する項目
				木場っ子アンケート結果		いじめにつながる実態がないか
				児童面談記録		気になる言動がないか
児童会	<p>児童主体の児童会活動をめざす（児童会担当）</p> <p>1 児童会組織の活性化（①期日②方法③主体）</p> <p>①毎月②活動計画の立案・運営・ふり返りを児童自ら行う。（委員会記録）③児童会・委員会担当者</p> <p>2 縦割り活動</p> <p>①清掃活動や運動会等の縦割り活動（医学年との交流）②人間関係づくりを通してルールや役割分担の必要性を自覚させる。一人一人に活躍の場を与え、達成感を味わわせ自己有用感を高める。③掃除担当者・縦割担当者</p>			議会記録		
				委員会記録		
				職員アンケート		
特別支援教育	<p>一人一人に必要な支援の充実（特別支援コーディネーター）</p> <p>該当する児童の実態や支援方法を職員で共通理解する。児童の抱える課題を把握し校内委員会で話し合う。校内委員会で話し合ったことをもとに適切な支援を行う。外部機関（専門相談員等）との連携を図り、指導支援に活かす。</p> <p>（①期日②方法③主体）</p> <p>①学期に1回、適宜</p> <p>②校内委員会</p> <p>③校内委員会出席者</p>			個別の支援シート		
				支援の記録		
				校内委員会記録		
道徳教育	<p>道徳教育の充実を図る（道徳教育推進教師）</p> <p>・重点項目を中心とし、道徳の授業だけでなく、別業を参考に他教科との関連を図り、道徳教育を行う。</p> <p>・家庭や地域と連携した道徳教育を推進していくために、授業参観で授業公開を行う。また、家庭向け道徳便りを発行し、授業や児童の様子を家庭に伝える。</p> <p>・授業づくりや工夫について職員向け道徳便りで発信し、道徳教育の充実、職員間での共通理解を図る。</p>			道徳教育全体計画	○	
				道徳教育年間指導計画	○	全内容項目が計画通りに年間を通して実施されている
				道徳教育別業	○	道徳の授業が家庭や地域に公開されている。
						道徳だよりの発行
情報教育	<p>情報活用力の向上（情報担当）</p> <p>・毎学期、情報モラル教育の取組状況の確認・呼びかけを行い、推進を図る。</p> <p>・OJTを行い、職員の情報機器操作の技術の向上を図る。</p> <p>・ICT指標を各学年に提示して取り組む。（各学年で身に付けるべき力を確認し、教科の学習や総合的な学習、特別活動等で取り入れる）</p>			情報教育全体計画	○	
				情報モラル年間指導計画	○	
保健健康教育	<p>健康の増進と自己管理能力の向上を図る（養護教諭・保健主事）</p> <p>・学期に1回「スヤスヤすくすく睡眠カード」に取り組み、自己の睡眠状況を振り返り、健康的な生活を送ることができるよう働きかける。</p> <p>・学校保健委員会のテーマを「睡眠」とし、保護者も交えて睡眠について学び考える場を設け、実践につながるよう働きかける。</p>			学校保健指導計画	○	
				スヤスヤすくすく睡眠カード		
体育教育	<p>体力の向上を図る（体育担当）</p> <p>・鉄棒（5～7月）、水泳（6～8月）、マラソン（10月）、なわとび（12～3月）の4種目について、児童に目標を設定させ、体育学習カードを使用し、技術やタイムの向上を図る。</p> <p>・ラダーを使つての体力の向上を図る。（1年間）</p>			体育学習カード		取り組み前後の比較
人材育成	<p>校内研修の充実を図る（教頭・各担当）</p> <p>・計画的・積極的に学校OJTに取り組み自己研鑽に努める。</p> <p>・「校内若手教員研修計画」に沿って人材育成の充実を図る。（①期日②方法③主体）</p> <p>①毎月：部会・運営委員会②取組状況を確認・修正③主任・各担当</p>			職員アンケート		組織的な学校運営OJT
学校関係者評価						

学校関係者評価						
---------	--	--	--	--	--	--